

企画提案型協働事業
令和3年度書面審査 各委員からの意見

事業名：竹袋調整池と周辺地域の維持管理事業

意見

市の施策である「緑と調和した生活空間の形成と活用」の位置付けのもとで実施されている当該維持管理事業は、今も市と市民（団体）がともに力を合わせて活動していくことで、大きな効果が期待できると考えます。

そのためには、団体の活動情報を提供してだれもが気軽に参加してみようと思えるような仕掛けの創出が必要になってくると思います。

適していると考えます。

〈印西市への検討依頼〉

竹袋調整池周辺地域の維持管理は、当NPO法人の努力と印西市との協働によって、年々整備されてきました。そして、当該地域の景観や公園を維持管理する必要性は、市民側にも行政側にも理解されていると思います。企画提案型事業提案スキームに載せ、毎年、委員会での審査プロセスを経る必要があるのか、或いは別の方法を採用すべきかについて検討していただきたいと思います。

適切な運営・管理保全がなされていると思います。

更なる来場者の増の為に、市にはアクセス道路など考えていただきたい。

団体の高齢化問題はどこにでもあります。生活様式が様変わりした今、若い人員を増やして事業を継続していくという今までの展望は現状に合わなくなっているような気がします。

竹袋の調整池周辺の整備と美化がご努力によって継続し、今後もまた市民が足を運ぼうというきっかけを作られていることに、敬意を表したいと思います。無理なく、楽しまれながら進めていただきたく願っております。

調整池と周辺がきれいに整備されていることは評価できる。

反面、コロナの影響があると思われるが、地域住民への働きかけが今一つという感じが否定できない。今後こうした働きかけを意識しながら事業を進めていただきたい。

本年度の報告書から、平成21年度より十数年に渡り、印西市民の憩いの場である竹袋調整池を多くのボランティアの協力をまとめて適切に維持管理されていると拝察いたします。本公園の維持管理を印西市の委託業務とすると市民ボランティアの前向きな協力を得ることが困難になり、現時点の高いクオリティやボランティア活動を通してのコミュニティの維持が難しくなる懸念が高く、申請の内容での活動が望ましいと考えられる。なお、活動期間が長期に渡っているので、今後も本活動を継続していくためには、組織メンバーの固定化・高齢化を打破する試みも並行して進めていく必要がある。

市との協働事業として、経年に渡る維持管理を通じて、一部の人ではなく印字市民の方々の‘憩い’の場となっている事と考えます。感染症対策に十分に留意をしていただき、今後も継続した事業としての取組みを期待します。

※感染症対策に必要なツールとして①消毒液、②マスク、③検温計（非接触型）はマストです。

市として、この件について明確な姿勢を示していただく時期かと思えます。

協働という観点から、このあり方が望ましいか、疑問を呈される可能性も高いと思えます。

コロナ渦においてご苦勞もあるかと思いますが、引き続き市と協議しながら進めていただければと思えます。

1. 人材の育成やボランティアの確保に努められ市民活動として、また協働事業のアウトプットとして新年度においても十分成果が期待できる。
2. 協働事業として継続の制度上検討の余地は残ると思うが、着実に市民の憩いの場として環境整備に努めてこられ、市当局としても協働事業として地域住民の声を反映した事業運営を継続されることが適切と判断しておられること。

等から令和3年度の事業として「適」と判断致しました。